

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

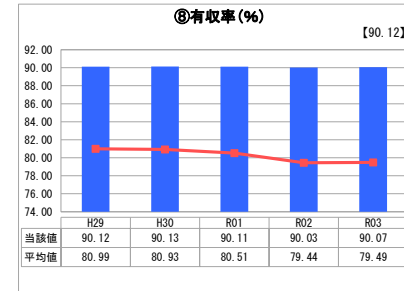
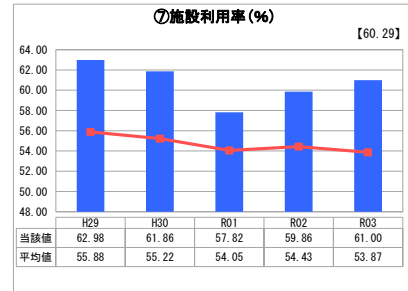
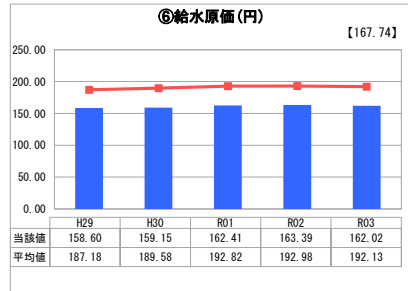
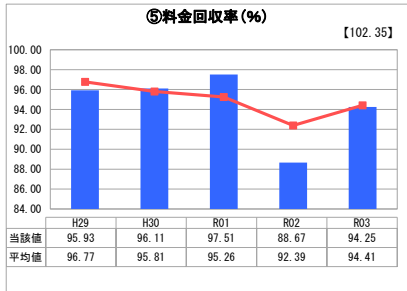
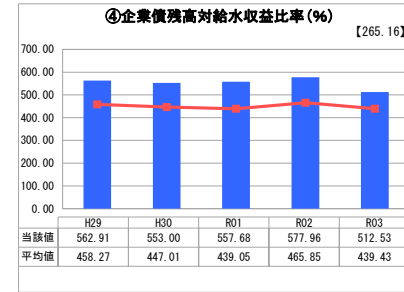
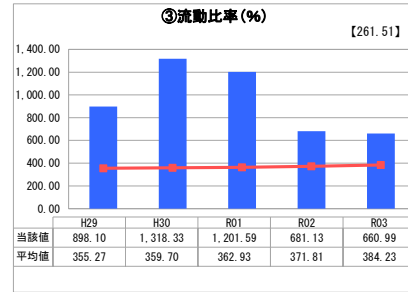
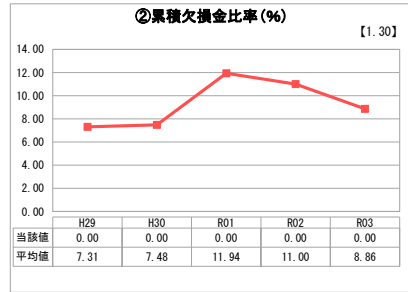
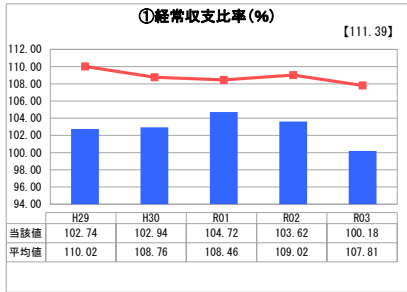
長崎県 川棚町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	52.67	99.78	3,520	

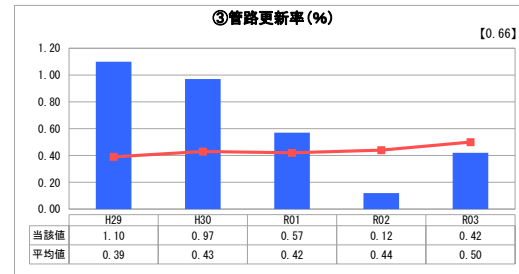
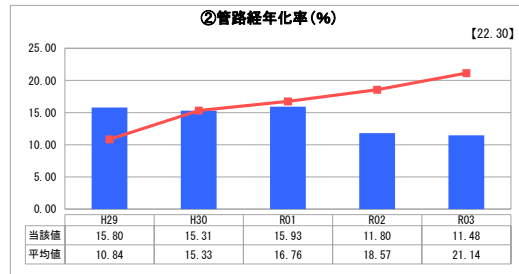
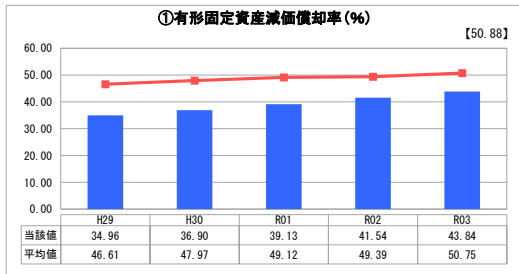
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,570	37.25	364.30
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,389	13.90	963.24

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、前年度に比べて3.44ポイントの減となったものの引き続き黒字を維持しています。  
 ② 欠損金は発生していませんので、累積欠損比率の数値はありません。  
 ③ 流動比率は、全国平均・類似団体平均値を大きく上回っており、流動資産の構成比率も現金預金が大部分を占めているため、十分な支払能力が確保されています。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率については、施設の更新に充てた企業債の増加により、高い水準で推移しています。また、企業債残高は減少しているものの給水収益も減少しているため、高い数値となっています。  
 ⑤ 料金回収率は、全国平均・類似団体平均値を下回っています。不足分については、営業外収益で賄っており、基準外繰入金等による補填は行っていません。  
 ⑥ 給水原価は、類似団体平均値を下回っています。前年度に比べて1.37円減少しました。経常費用が減少したためです。  
 ⑦ 施設利用率は、総配水量が増加したため昨年よりも高い数値となっており、全国平均を上回っています。  
 ⑧ 有収率は、全国平均を上回る数値で推移しており、適正な施設規模を維持していると考えられます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、増加傾向にあり全国平均・類似団体平均値を下回って推移しており、施設の更新ができていないことを示しています。  
 ② 管路経年率も全国平均・類似団体平均値を下回っていますが、高い水準で推移しているため、優先的に耐用年数を経過した管路の更新に取り組む必要があります。  
 ③ 管路更新率は、昨年より0.3%上回っているものの、全国平均を下回っています。管路経年率とあわせて経年化管路の更新に取り組む必要性を示しています。

## 全体総括

1. 経営の健全性・効率性の指標から、収益性を確保するまでには至っていませんが、純利益を確保し、黒字経営を維持することができています。ただし、2. 老朽化の状況の指標から、施設全体の更新はできていますが、経年管路の更新が進んでいないため、これからは耐用年数を経過した管路の更新に優先的に取り組む必要性を示しています。更新投資に充てる財源を確保するため、費用削減などによる更なる経営の効率化や適切な料金水準の確保などに取り組む必要があります。